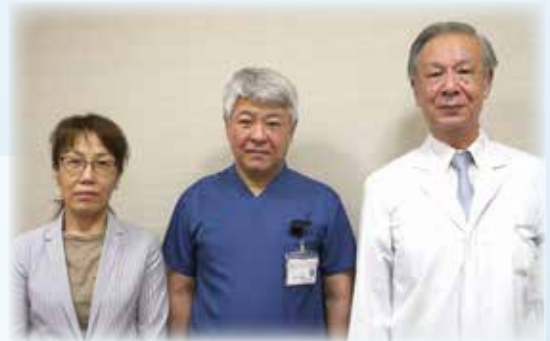




中央市民病院ニュース No.80

地域医療連携センターからのご挨拶

地域医療連携センター 参事 石原 隆



平素より地域連携において皆様方大変お世話になっております。

新型コロナウイルス感染症の流行が始まって、早2年が過ぎました。この間、当院を受診される患者さんは大きく様変わりしました。再診患者さんが減少したことと、非常に大きいことは新規紹介患者数が65%程度まで低下したことです。4年度になり増加傾向にはありますが、地域医療支援病院としては紹介患者数が最も重要であり、地域の先生方より再び紹介をいただけるようお願い申し上げます。

予約は依然としてFAX予約が主ですが、インターネット紹介予約も漸増してきています。一部の診療科ですがインターネット紹介予約システムの担当表に担当医の得意分野を記載しています。FAX予約に関しては申し込み時の負担軽減と短時間での返信に努めてまいります。また、当日の受付時間短縮のためにQRコードによる事前保険証確認を開始しました。今後も利便性の高い予約ができることを追及して参りたいと考えています。

入院は新型コロナウイルス感染症診療のため、流行の程度によりそれ以外の患者さんの入院を制限してきました。特に、救急患者の受け入れでは大変ご迷惑をおかけしました。本院からの転院ではかなり無理なお願いをしましたが快く引き受けてくださり、また新型コロナ感染症治療後の患者さんの転院に関しては全国より半年早い時期から引き受けてくださり、重症コロナ病棟の運営にご協力いただいたこと本当に感謝しています。

この2年間、地域医療連携センターとして互いの連携訪問・セミナー参加・懇話会の開催等顔の見える連携がほとんどできていません。WEB会議では情報交換は可能ですが、やはりお顔を見て、ご挨拶をして、直接意見交換することで親交を深めることができると思います。本年度はコロナの感染状況（第7波）によりますが、是非会場に集まり、会食ではない懇親の場を設けたいと考えています。10月27日（木曜日）の夕方に開催を予定しています。後日案内を差し上げますが、多くの方々に参加していただきたいと考えておりますので予定を空けておいてくださると幸いです。

INDEX

地域医療連携センターからのご挨拶	1	連携登録医にご登録ください	7
ついに膠原病にステロイド不要時代の到来か！？	2	臨床研究推進センターからのお知らせ	7
本館の放射線治療装置が新しくなりました	3	医師の異動のお知らせ	7
病院救命士のご紹介	4	患者さんをご紹介いただく際は	8
新入職医師のご紹介	5		

ついに膠原病にステロイド不要時代の到来か！？

膠原病・リウマチ内科 大村 浩一郎

膠原病治療においてステロイドはなくてはならない治療薬です。しかしながらその副作用に悩まされている患者さんは多く、最近は様々な免疫抑制薬や免疫調整薬を積極的に使用することで、**少しでもステロイドの量を減らし、可能ならステロイドを中止する**というのが世界のトレンドとなっています。そのような中で、今度はステロイドに代わるかもしれない薬剤がついに登場しました。**ANCA 関連血管炎である顕微鏡的多発血管炎と多発血管炎性肉芽腫症（旧 Wegener 肉芽腫症）を対象とした選択的 C5a 受容体拮抗薬「タブネオス[®] カプセル」**です。補体の抑制薬であるタブネオスは、ANCA 関連血管炎の寛解導入において、リツキサン[®] もしくはエンドキサン[®] による標準免疫抑制薬にステロイド大量療法もしくはタブネオス内服のいずれかを加えるという第Ⅲ相臨床試験において、26 週時の寛解率および 52 週時の寛解維持率がタブネオス群はステロイド群に対して非劣勢が示されました。つまり、標準療法である**ステロイドに優るとも劣らない寛解導入の成績**が示されたのです。気になる副作用ですが、試験においてはステロイド群と比較してより感染症が増えたわけではなく、重篤な有害事象にも差がありませんでした。難点は 1 日用量 60mg の薬価が 8423 円と高価な点でしょうか。私たちはこの薬剤をしっかりと育てていくべく積極的に使用していきたいと考えています。

一方、**全身性エリテマトーデス (SLE) にも待望の新薬**が登場しました。2017 年に SLE に対して初めての生物学的製剤である**抗 BAFF 抗体ベンリスタ[®]**が適応となりましたが、2021 年に**抗Ⅰ型インターフェロン受容体抗体サフネロー[®]**が販売されました。Ⅰ型インターフェロンは自然免疫と獲得免疫をつなぐ重要なサイトカインであり、SLE の病態の中心になっていると考えられています。現時点では **SLE の皮膚病変、血球減少、倦怠感などに有効**とされていますが、腎症や中枢神経症状にも効果が期待されています。SLE に対しては新薬の臨床試験が様々行われており、関節リウマチ治療のように、いずれステロイド不要の日が来ることを期待させます。現時点でも免疫調整薬であるヒドロキシクロロキンと抗体製剤を含む免疫抑制薬を上手に使うことで、重症だった SLE 患者も低疾患活動性、寛解を維持しつつ**ステロイドを中止できる患者さんも増えていきます**。もし、SLE の活動性制御に苦労しておられるケースやステロイド減量が困難な患者さんがおられましたら、お気軽にご相談、ご紹介ください。



本館の放射線治療装置が新しくなりました

放射線治療センター

当院の放射線治療装置は本館 G ブロック放射線治療センターに 2 台、南館 1 階に 1 台あります。今回は本館の G ブロックにある放射線治療装置を 1 台更新しました。

【TrueBeam (バリアンメディカルシステムズ社製)】

TrueBeam は高い機械精度とスループット、信頼性が評価されている放射線治療装置です。従来の装置では、寝台は 3 軸補正（頭尾・左右・背腹）を基本に位置補正を行っていましたが、回転方向を加えた 6 軸で位置補正を行うことが出来、高精度の位置合わせが可能です。さらに ExacTrac IGRT(BRAINLAB 社製) も導入し、赤外線カメラによるナビゲーションシステムと kV の X 線撮像システムにより構成され、高精度かつ短時間で 6 軸補正を行うことが可能です。(図 1)

放射線治療装置は治療部位の照射範囲を形成する装置として Multi Leaf Collimator (MLC) が備え付けられており、従来の装置は 1 枚の Leaf 幅が外側 10mm、中心部 5mm となっていました。そのため、複雑な形状の脳動静脈奇形 (AVM) や小さな脳腫瘍等は 5mm の幅では照射範囲を形成するのが困難でした。今回導入した TrueBeam の MLC(HD12MLC) は外側 5mm 幅、中心部 2.5mm 幅で構成されているため、AVM や小さな脳腫瘍に一致した照射範囲を形成することが可能となり、正常臓器への線量低減を図っています。(図 2)

また、FFF ビーム (Flattening Filter Free beam) を使用し、高線量率の照射が可能となります。線量分布は従来のエネルギーと変わりませんが、照射にかかる時間が約半分程度となります。そのため、呼吸により大きく移動する部位に照射を行う際に、正常組織への線量低減を目的とし、息を止めている間に照射を行う場合がありますが、照射時間を短くできることで患者さんへの負担を軽減することができます。



図 1

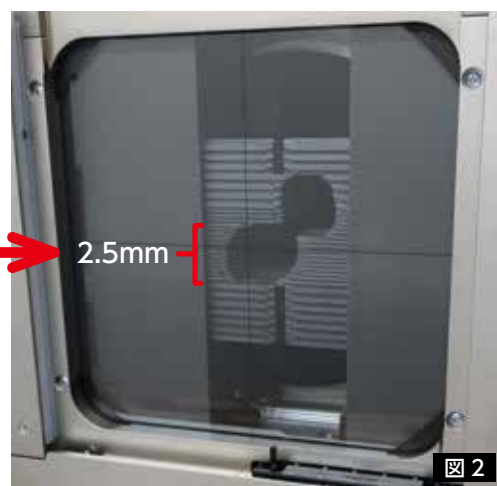


図 2

【ELEMENTS SmartBrush Angio (BRAINLAB 社製)】

今回の更新に伴って治療計画装置として ELEMENTS SmartBrush Angio を導入しました。

従来の治療計画装置では、アンギオ画像と 3D 画像を重ね合わせ際に座標位置を同定するための専用の器具を用いて重ね合わせ用にアンギオ画像を撮影し直す必要がありました。導入した ELEMENTS SmartBrush Angio は専用の器具を使用することなく重ね合わせることが可能となり再撮影が不要となりました。(図 3)

また、有用な機能として血流を色分けし、病巣とそれに繋がる動脈と静脈を鮮明に区別することが可能であり、アンギオ画像上で定義した関心領域から 3D で病巣を自動描出することもできます。

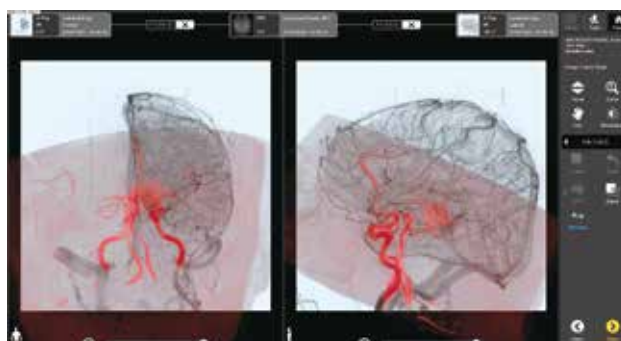


図 3

病院救命士のご紹介

救急科 救急救命士 古田 一真

“病院救命士”が普及する以前から、当院では救急救命士を採用しています。病院救命士は救急隊ではありません。医師や看護師の数も限られているなか、医師の仕事量を減らす救急医療の知識をもったスタッフを必要とする「働き方改革」の考えがあり、それを補うのが病院救命士です。

病院救命士を知っていただくために、当院 ER の救急救命士の主な役割をご紹介します。

- ・ 2次救急受け入れ要請の電話対応
- ・ 休日のドクターカー出動
- ・ 診療記録と介助
- ・ COVID-19 診療の介助
- ・ 院内 BLS 講習会開催※
- ・ ECPR 時の胸骨圧迫

これらを基本に、救急医や ER 看護師と協力して業務に当たっています。2021 年に救急救命士法が改正されたこともあり、救急救命士に仕事を安心して任せてもらえるよう日々精進しています。普段から人員や検査状況を把握し、患者さんの待ち時間や負担が少なくなるよう心掛けています。

コロナ禍の防御態勢での診療ではゾーニングが必要となり、スムーズに診療を行うためには医療スタッフの配置が大きく影響します。1日のスタッフの人数にも限度があるため、当院 ER では救急救命士の存在が不可欠となっています。現在4名でERをまわしており、高い意識をもって仕事に取り組んでいます。

患者さんにとっても、医療スタッフにとっても、“居なくてはならない病院救命士”であり続けます。

※全職員を対象に BLS 講習会を隔月開催しており、1次救命処置の普及を10年以上行っています。BLS のロールプレイングではいろいろな症例を小芝居風に和気藹々と憶えてもらえるよう工夫しています。



新入職医師のご紹介



脳神経内科

荒木 健

(アラキ タケシ)

専門分野：
脳神経内科一般

地域の皆様に信頼されるよう精進していきます。ご指導よろしくお願いいたします。



呼吸器内科

金澤 史朗

(カナザワ フミアキ)

専門分野：
呼吸器疾患全般

日々の診療に真摯に取り組んでいきたいと思えます。



血液内科

近藤 忠一

(コンドウ タダカズ)

専門分野：
急性白血病などの
造血器腫瘍。
造血幹細胞移植。

京都大学で 26 年間、造血幹細胞移植の臨床、研究に従事してきました。
4 月から当院でも尽力いたします。



精神・神経科

内藤 敦海

(ナイトウ アツミ)

専門分野：
精神科全般

異動したばかりで慣れない事も多いですが、よろしくお願いします。



小児科・新生児科

山下 裕加

(ヤマシタ ユカ)

専門分野：
新生児集中治療

小さく生まれた赤ちゃんや、生まれてから何らかの治療が必要な赤ちゃんが元気に退院して、育ってくれることを目標に日々診療にあたっています。



外科

鳥口 寛

(トリグチ カン)

専門分野：
消化器外科
(肝胆膵外科)

京大・兵庫医大にて肝胆膵外科の研鑽を積み重ねて参りました。よろしくお願いします。



呼吸器外科

栢分 秀直

(カヤワケ ヒデナオ)

専門分野：
呼吸器外科全般、
肺移植

患者さんが納得して治療を受けてくださる
ようにわかりやすく説明することを心掛けて
います。



整形外科

竹内 久貴

(タケウチ ヒサタカ)

専門分野：
上肢外科、微小血管
外科（マイクロサー
ジャリー）、骨粗鬆症

上肢（手・肘・肩）の痛みや痺れ、変形に対
する治療、及び、皮膚欠損や骨欠損に対する
微小血管外科治療を専門としております。



整形外科

光澤 定己

(ミツザワ サダキ)

専門分野：
手、肘、肩関節外科、マ
イクロサージェリー、脊
椎外科、外傷全般

どんな症例でもご紹介いただければ幸いです。
どうぞよろしくお願い申し上げます。



産婦人科

岡本 葉留子

(オカモト ハルコ)

専門分野：
産婦人科一般

患者さん一人ひとりに合わせた最適な医療
を提供できるよう、また安心して治療を受
けていただけるよう日々努めてまいります。



放射線診断科

染矢 祐子

(ソメヤ ユウコ)

専門分野：
上腹部の画像診断と
MRI（拡散強調画像）

まずは画像検査のレポートが先生方のお役
にたてれば幸いです。どうぞよろしくお願い
致します。



放射線診断科

廣井 崇

(ヒロイ タカシ)

専門分野：
画像診断

診療を陰ながら支えています。



救急科

田中 達也

(タナカ タツヤ)

専門分野：
救急

ER 診療や集中治療管理を学ぶために宮崎県
から来ました。関西弁に緊張する日々です。

地域連携のお知らせ

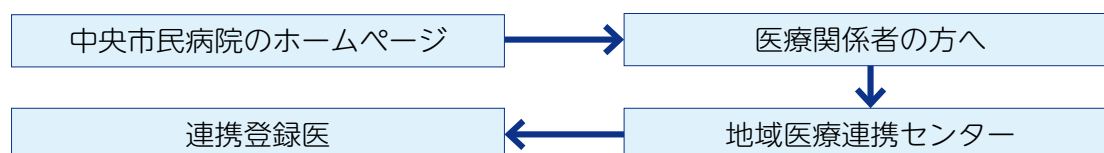
連携登録医にご登録ください

当院では、患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるよう、当院と連携・協力して安全で質の高い医療を提供される市内医療機関の先生方を「連携登録医」として登録する制度を設けています。連携登録医として登録していただく

1. 紹介患者さんに対する診療及び入院の対応を迅速に行うよう努めます
2. 紹介患者さんの診療記録を当院で閲覧できます
3. 当院の患者さんがかかりつけ医を探される場合に紹介いたします
4. 図書室など当院の施設・設備を利用できます（ご利用になれない施設・設備もあります）
5. 来院時の駐車場料金を無料にします
6. 当院が公開して行う症例検討会、研修会、講演会等に自由にご参加いただけます
7. 病院ニュースやオープンカンファレンス・講演会の開催情報などを E-mail でお送りいたします
8. 「連携登録医証」「インターネット紹介予約システムご利用 ID・パスワード」を発行いたします

新たに下記の先生方にご登録いただきました。

なお、連携登録医療機関一覧は、当院ホームページにも掲載しております。



新規連携登録医療機関

区別住所 50 音順で掲載しております。

区	連携登録医療機関	住所
東灘区	よつば診療所 東灘	深江北町 4-11-6-1406
中央区	医療法人社団南淡千遙会 神戸平成病院	上筒井通 6-2-43
北 区	いちまる内科・呼吸器内科クリニック	緑町 7- 2- 3 MD ビルⅡ 2 階
北 区	医療法人社団健心会 神戸ほくと病院	山田町下谷上字梅木谷 37-3
北 区	こやまクリニック	山田町下谷上字梅木谷 42-4
垂水区	いちせ内科リウマチクリニック	陸ノ町 2-3-201

医師の異動のお知らせ

5～7月

退職・転出			
診療科	役職	氏 名	異動日
脳神経外科	専攻医 3 年次	山元 康弘	5 月 31 日
麻酔科	専攻医 3 年次	菅野 睦	5 月 31 日
救急部	医長	水 大介	6 月 30 日
産婦人科	副医長	崎山 明香	6 月 30 日
歯科・歯科口腔外科	部長	竹信 俊彦	6 月 30 日
小児科	専攻医 3 年次	中田 悠	6 月 30 日
救急部	専攻医 3 年次	出田 健人	6 月 30 日
救急部	専攻医 3 年次	田中 淳仁	6 月 30 日
救急部	専攻医 2 年次	樟 侑樹	6 月 30 日
救急部	専攻医 2 年次	濱本 奈々	6 月 30 日
救急部	専攻医 3 年次	中山 美里	6 月 30 日
救急部	専攻医 3 年次	有松 優行	6 月 30 日
麻酔科	専攻医 4 年次	岡口 千夏	6 月 30 日
脳神経外科	医員	春山 裕典	7 月 31 日
外科	専攻医 1 年次	松島 俊樹	7 月 31 日
脳神経外科	専攻医 4 年次	朝倉 健登	7 月 31 日
麻酔科	専攻医 2 年次	田中 崇嗣	7 月 31 日

6～8月

採用			
診療科	役職	氏 名	異動日
腫瘍内科	医長	中舎 晃男	7 月 1 日
歯科・歯科口腔外科	部長	谷池 直樹	7 月 1 日
救急部	専攻医 3 年次	高橋 毅史	7 月 1 日
救急部	専攻医 2 年次	遠藤 啓孝	7 月 1 日
救急部	専攻医 2 年次	野間 光貴	7 月 1 日
救急部	専攻医 2 年次	武田 栞幸	7 月 1 日
救急部	専攻医 2 年次	中谷 至秀	7 月 1 日
麻酔科	専攻医 4 年次	砂田 大賀	7 月 1 日
麻酔科	専攻医 2 年次	山田 勝平	8 月 1 日

患者さんをご紹介いただく際は・・・

● FAX・インターネットでご予約ください！ ●

地域の医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんの待ち時間を短縮するため、診察・検査の紹介予約を受付しています。紹介予約の方は予約時間どおり受診できるように努めておりますので、是非ご利用ください。

FAX予約

- FAX 予約申込時、申込書に診療経過等の記載がなくても FAX 予約は可能です。診療情報はその日のうちに記入し、再送信して下さい。
- 患者さんのご都合がはっきりしない場合でも仮予約をお取りください。仮予約後、患者さんご自身で予約変更が可能です。地域医療連携センターへ電話で連絡をして頂くようお願いください。

【手順】

1. 「FAX 予約申込書」を当院地域医療連携センターへ送信して下さい。【簡易手続記載例を参照ください。】
 - 1) 「FAX 予約申込書」様式の上段赤枠のみ記載ください。(検査依頼については専用の検査様式をご使用ください)
 - 2) 後ほど予約申込日中に下段青枠に追記してから再送ください。
2. 「予約報告書(上段) 兼初診予約券(下段)」を返信します。
3. 「予約報告書(上段)」は貴院で保管し、「初診予約券(下段)」及び「診療情報提供書(紹介状)」を患者さんに手渡してください。

氏名	性別	年齢	生年月日	住所	電話番号	FAX 番号	診療科目	予約日時	備考
① 赤枠のみ記入して送信してください。 ② 青枠に追記して再送信してください。									

1 まず赤枠のみ記入して送信してください。

2 お手すきの際に青枠に追記して再送信してください。もしくは、貴院様式の診療情報提供書を追加送信してください。

インターネット紹介予約

インターネットで診察予約申込と予約券出力が可能です。

当院ホームページ > 医療関係者の方へ > 一般外来紹介予約 > インターネット紹介予約はこちら

PET/CT 検査依頼のご案内とお願い

放射線技術部

●当院の PET/CT 検査について

2017 年 11 月より、地域医療機関の先生方からの PET/CT 検査依頼に対応可能となりました。

当院は、サイクロトロンを備えており、PET 薬剤 (FDG) は、院内で合成し、品質検定に合格したものを使用しています。そのため、体重により適正量の PET 薬剤を投与することが可能となり、安定した画像の提供を行っています。

2018 年 3 月に「5 リング搭載高感度型 PET/CT 装置 (GE Healthcare 社製 Discovery IQ)」が導入され、従来の装置に比べ、低被ばくで高画質の検査が可能となりました。

また現在、検査予約待ちがほぼない状態で、患者様のご希望に添った検査予約が可能となっております。



●地域医療機関の先生方へのお願い

FDG-PET/CT 検査は、悪性腫瘍 (早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む) において保険の適用となり、検査目的は病期診断、再発・転移診断となっております。悪性腫瘍の疑いなどの良悪性鑑別、治療効果判定 (悪性リンパ腫を除く) は、保険の適用外となりますのでご注意ください。

また、他の画像診断により病期診断、再発・転移診断が確定できない場合に限り、FDG-PET/CT 検査を受けられる前に、必ず CT・MRI の画像検査を施行し、画像データを持参していただきますようお願い致します。



地方独立行政法人 神戸市市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
 Kobe City Medical Center General Hospital

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1

代表 Tel: 078-302-4321 Fax: 078-302-7537

FAX予約 Tel: 078-302-6031 Fax: 078-302-2251

地域医療連携センター

Tel: 078-302-4321(代) Fax: 078-302-4424

★緊急受診・転院のお問い合わせは★
 専用ダイヤル: 078-302-5172

平日 9:00 ~ 17:00 地域医療連携センター
 上記以外の時間帯 救急外来受付

脳卒中ホットライン
 078-302-8030

産科ホットライン
 078-302-5104

胸痛ホットライン
 078-302-6162

小児科ホットライン
 078-302-5343

心臓血管外科ホットライン
 078-302-4417